

ころん

朱利様

ごと

ころん

朱利様は

特別と思つていた

これに

返答

あつたよと思つていた

その朱利様

ころかっている私のところには

あつ

といふ字の

どうしようも字の

へルだーしをもうしわ字の

来形へルバしあはるひて

それや それや 甲がつくれ

心づつへあつうと

私^{のうま}由^ま手^まを^ま入^まれ^まて^まや^まつ^まて^まくれ^まよ^ま木

これにわづり

ふしりを先にあつれば 行はつていく

無理があつたのよ いったい がまんをきかぬ

もうやめては さいごの

神かたに じに

こいふに 弘をひきかへて たいまつ

あつたへ くれてくれ

あー これに ひとあつた へつとでわまる

